



I 第27週の発生動向 (2026/6/29~2026/7/5)

1. 水痘について、中南保健所管内の注意報は解除となりました。
2. 日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「海外滞在中における感染症対策」です。

最終ページに掲載しています。

II 第27週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

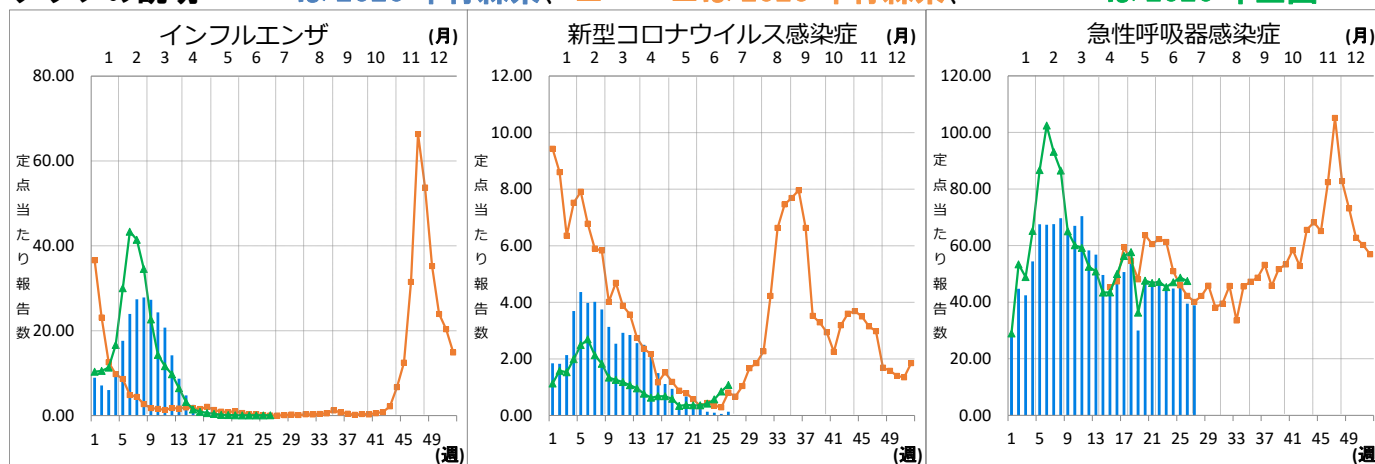
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東津軽十 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸十 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	1	0.09	4	0.40	1	0.10			1	0.11	3	0.50	10	0.19	0
	新型コロナウイルス感染症									1	0.11			1	0.02	-6
	急性呼吸器感染症	676	61.45	258	25.80	300	30.00	168	28.00	254	28.22	365	60.83	2021	38.87	-32
	RSウイルス感染症															-3
小児科	咽頭結膜熱	3	0.50			3	0.43	1	0.20	1	0.17	1	0.25	9	0.26	1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	1.00	9	1.50	3	0.43	4	0.80	12	2.00			34	1.00	3
	感染性胃腸炎	9	1.50	6	1.00	36	5.14	12	2.40			4	1.00	67	1.97	18
	水痘			5	0.83									5	0.15	-6
	手足口病	11	1.83	5	0.83	32	4.57	5	1.00	1	0.17			54	1.59	21
	伝染性紅斑					3	0.43							3	0.09	3
	突発性発しん			1	0.17			1	0.20					2	0.06	-9
	ヘルパンギーナ	3	0.50	1	0.17					1	0.17			5	0.15	3
	流行性耳下腺炎							1	0.20			1	0.25	2	0.06	1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											3	3.00	3	0.50	-3
	無菌性髄膜炎															0

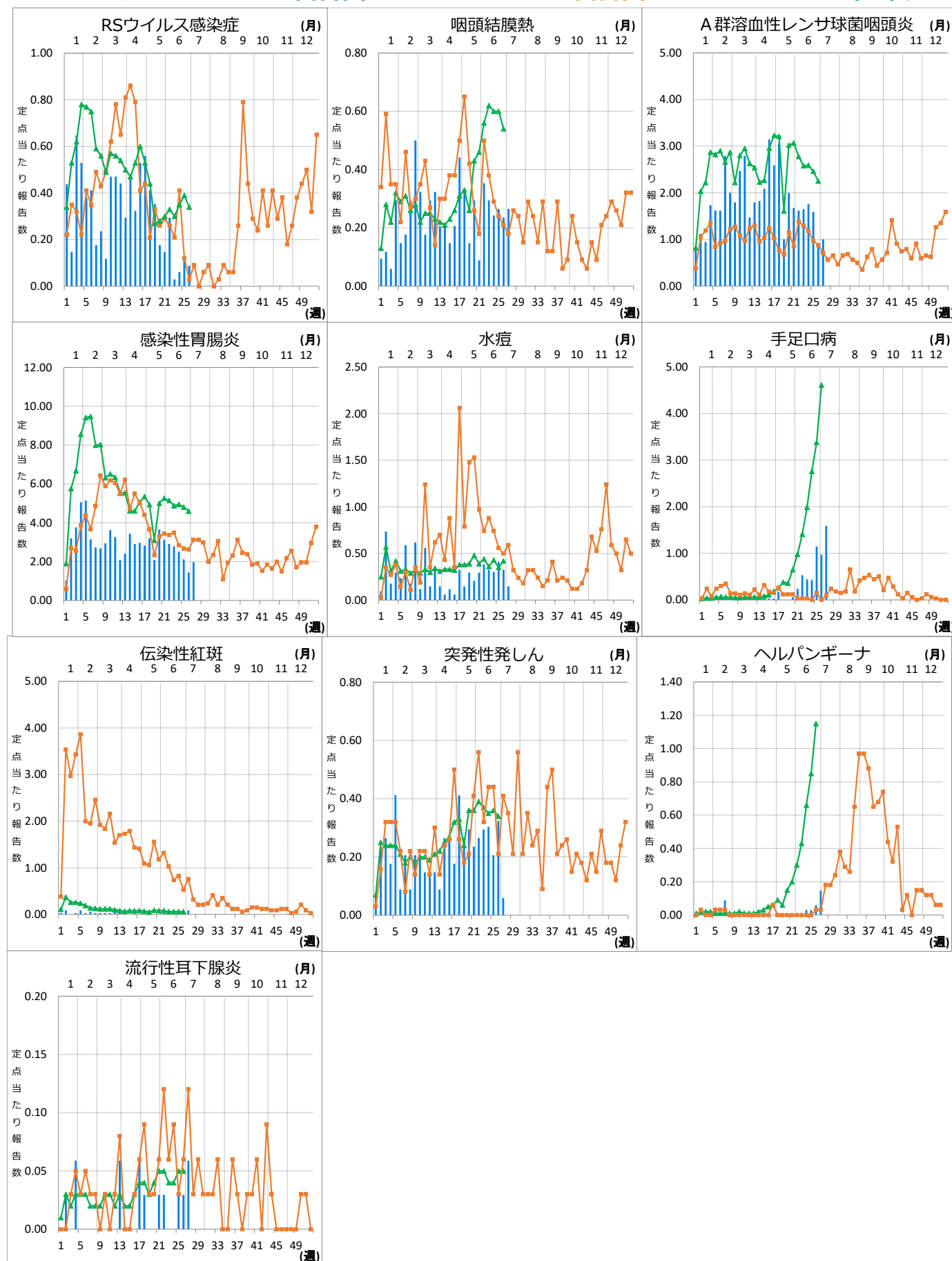
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第27週、ただし全国は前週)

グラフの説明 〓は2026年青森県、■は2025年青森県、▲は2026年全国

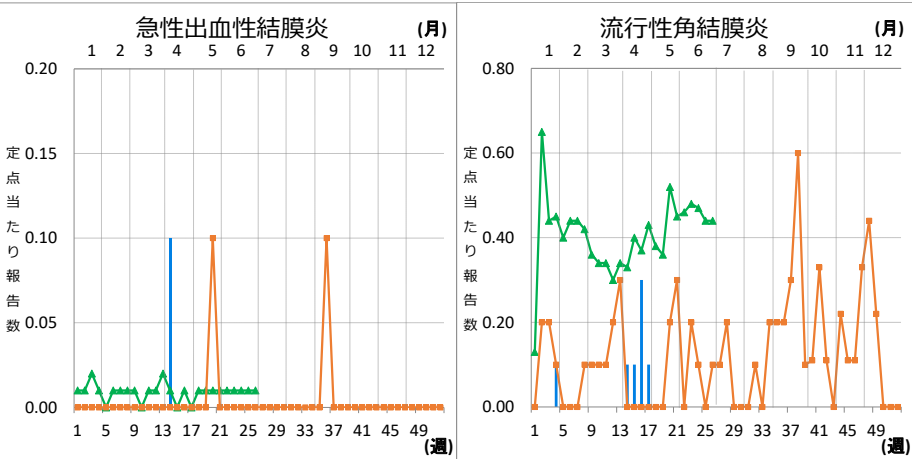


Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026 年第 27 週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026 年第 27 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



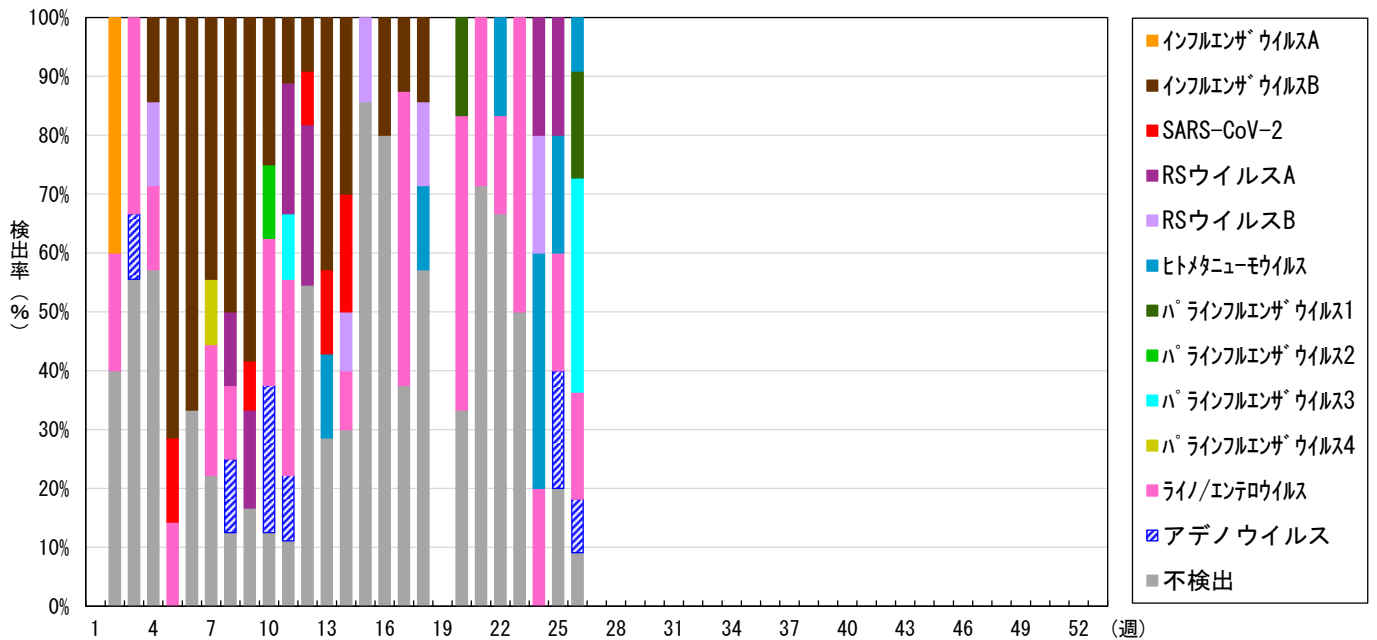
Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026 年第 20 週～27 週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
提出検体数	6	7	6	8	5	5	8	6
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスA	0	0	0	0	1	1	0	
RSウイルスB	0	0	0	0	1	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	1	0	2	1	1	
パラインフルエンザウイルス1	1	0	0	0	0	0	2	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	4	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	3	2	1	4	1	1	2	
アデノウイルス	0	0	0	0	0	1	1	
不検出	2	5	4	4	0	1	1	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	6

※第26週に提出された検体のうち、パラインフルエンザウイルス3及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが2検体、パラインフルエンザウイルス3及びヒトメタニューモウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026 年第 1 週～26 週)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 27 週）

- ・結核（二類感染症）：中南 1 人、八戸市 2 人、西北 1 人、下北 1 人（2026 年計： 49 人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：上北 1 人（2026 年計： 14 人）
- ・つつが虫病（四類感染症）：青森市 1 人、上北 1 人（2026 年計： 3 人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）：青森市 1 人（2026 年計： 5 人）
- ・百日咳（五類感染症）：中南 1 人（2026 年計： 21 人）

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026 年第 24 週～2026 年第 27 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
24	腸管出血性大腸菌感染症1人 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	梅毒1人		結核1人	
25		梅毒1人 百日咳1人	結核2人	結核1人		
26	梅毒1人	結核2人 侵襲性インフルエンザ菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人 百日咳1人			結核1人
27	つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人	結核1人 百日咳1人	結核2人	結核1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	結核1人

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第26週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	7058	39	1354	19	8	345	133	8	73	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	3	4	90	2	59	39	196	2	18	970
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	4	249	105	491	11	244	5	75	689	466
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	多剤耐性緑膿菌感染症	梅毒	播種性クリプトкокクス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	20	295	34	1606	444	86	5610	92	45	44
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	3488	2	545	9						

青森県（2026年第1週～第27週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	49	2	14	3	3	1	1	5	2	7
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類				
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	百日咳				
累積報告数	1	5	12	6	10	21				

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅺ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026 年第 27 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第27週	報告なし		

2026 年報告件数及び発症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月					8月	9月	10月	11月	12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27週	28週	29週	30週	31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	2	3	0	0										15
	発症者数	37	44	69	23	42	0	0										215
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	3	4	1	0										13
	発症者数	92	0	30	73	63	10	0										268
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0										2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0										38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0										0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0										0
計(月別)	件数	7	2	8	5	7	1	0										30
	発症者数	149	44	117	96	105	10	0										521

感染症の窓

海外滞在中における感染症対策

夏休みを控え、海外旅行を計画されている方もいるかと思いますが、海外には、日本で発生していない感染症がたくさんあります。海外で注意すべき感染症について、正しい知識と予防法を身に付けましょう。

渡航先での行動によって異なりますが、感染の可能性が最も高いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症です。また、動物や蚊・ダニなどが媒介する感染症で日本では発生していないものが海外では流行していることがあり、注意が必要です。

感染予防のため、可能な限り石けんを使って、こまめに手洗いをしましょう。食事は十分に加熱されたものを選ぶようにし、生水・氷・カットフルーツの入った食べ物は避けましょう。蚊・ダニに刺されないように服装に注意し、必要に応じて虫除け剤を使用しましょう。動物にむやみに近づいたり、触らないようにしましょう。

帰国後2週間程度は健康状態に注意し、具合が悪くなった場合は、速やかに医療機関を受診し、渡航していた旨を必ず伝えましょう。

海外で注意すべき感染症や発生状況は、厚生労働省検疫所や外務省などのホームページで確認することができます。渡航先の感染症情報の収集や必要な予防接種の検討など、滞在中の計画に応じた適切な感染予防を心がけてください。

表 海外で注意すべき感染症及びその感染源
(厚生労働省検疫所HPの内容を一部加工して掲載)

主な感染源	注意すべき感染症
食べ物・水	E型肝炎
	A型肝炎
	赤痢
	腸チフス
	コレラ
蚊	マラリア
	デング熱
	チクングニア熱
	ジカウイルス感染症
	黄熱
	ウエストナイル熱
	日本脳炎
ダニ	ダニ媒介脳炎
動物	狂犬病
	鳥インフルエンザ
	MERS（中東呼吸器症候群）
人	麻疹
	風しん
	ポリオ
	エムボックス



○詳しい情報はこちらをご覧ください。
👉 [海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所 HP）](#)